

「コロナ禍の年越しをきっかけとして、あなたのためにこのような祈り」

C. クリンゲンスミス

2021年の祝福をお祈りしております。



昨年2020年にわたって、LCJE日本支部とかかわってくださった皆様に心より感謝を申し上げます。東京や大阪の定例祈禱会の参加者、LCJEニュースの愛読者、LCJE日本支部のホームページを検索してくださった方々、また、LCJE日本支部の働きのために寛大な捧げものを送ってくださった方々に神の報いと祝福をお祈りいたします。どうもありがとうございました。

さて、年越しができたとしても、この国は世界と共に去年から煩わされている新型コロナ・ウイルスとさらに付き合わねばならない新年になりました。私は、去年このコロナ禍が始まった頃から自分の祈りの中で特別に次の5つの聖句を祈ってきました。この5つの聖句も年を越えて携えていきたいと思えます。この聖句は、そのまま祈りとなつていきます。主がどのように適用されるかは、主の御旨にまかせていく祈りです。以下の聖句が表しているように、主の御旨は、まさに憐れみ深い、慈しみ深いですので、そういった御旨に感じていっそう大きな信仰が必要だと感じてきました。今年もLCJE日本支部の関係者すべてのために、また、皆様一人一人のご家族や知人、友人や幅広い意味の交わりの輪の一人一人に主が御言葉の文字通りにしてくださいませようとお祈りいたします。

1)「愛する者よ。あなたの魂が恵まれているように、あなたがすべての面で恵まれ健康であるようにと祈っています。」(第3ヨハネ2新共) 魂ばかりでなく、すべての面ということで、お家の中で、職場の中で、教会生活を励む中で主イエス様があなたにこの新しい時代の日々に応じて必要な健康を与えてくださるよう。

2)「あなたの目は、まだできあがらないわたしのからだを見られた。わたしのためにつくられたわがよわいの日のまだ一日もなかったとき、その日はことごとくあなたの書にしるされた。」(詩編139:16口語) ダビデが驚きとともに記した深い安心感がポイントでしょう。驚くばかりの神の知恵と御力に応じて、神様はこの私やあなたのために最善の日々をあらかじめ計画してくださったと感じたいです。そういった日々は経験する途中、恐ろしいものかも、悲しいものかもしれませんが、後で適切な立場から振り返ってみれば、まさに最善だったと感じるように新年にも祈っていききたいと思えます。

3)「われらにおのが日を数えることを教えて、知恵の心を得させてください。」(詩編90:12口語) 神様は前もって私たちのすべての日々をご存知ですが、私たちはこの今日というものしか知ることができません。このパンデミックは安定と当たり前の生活は、そうでもない世界のすべての人に見せてくれました。したがって私たちの課題は何が一番大事か、何が一番必要かを確認しながら必死に一日一日を主とともに過ごして、神様にとって大事なことを私たちも大事にするということです。それぞれ知恵ではないでしょうか。

4)「あなたは夜の恐ろしい物をも、昼に飛んでくる矢をも恐れることはない。また暗やみに歩き回る疫病をも、真昼に荒らす滅びをも恐れることはない。」(詩編91:5、6口語) すなわち、健康を授かるだけでなく、病気への恐れからも守られるということです。確かに去年春からほぼ毎日、そっとさせるコロナ禍関係ニュースが世界の各地から私たちのところに届きましたが、今年中、いっそう恐ろしいものとなっても、経済がまたいくら絶望的に見えても、私たち皆、元気で主にすがって御言葉を単純に読んで、単純に聞いて、単純に信じて、主のお望みの一年を過ごさせていただけるように何よりも祈っていききたいと思えます。

5)「わたしたちの主イエス・キリストの父である神、慈愛に満ちた父、慰めを豊かにくださる神がほめたたえられますように。神は、あらゆる苦難に際してわたしたちを慰めてくださるので、わたしたちも神からいただく

この慰めによって、あらゆる苦難の中にある人々を慰めることができます。(2 コリント 1 : 3、4 新共) 今年、どのような試練や挫折を経験しなければならないとしても、願わくは、自分に起こってくる辛いことが何らかの形で隣人の益、すなわちキリスト信仰への励ましや慰めとなりますようにとも祈ります。

そういうことで、もし 2021 年末という時期が与えられれば、振り返ってみて、私も皆様もどのようにして御言葉の働きを経験したか楽しみにしましょう。